

サネカズラ（ビナンカズラ）

[木本] 《忌避》



林縁を覆う。



葉は厚く光沢がある。左奥は果実。



花はあまり目立たない。

区別のポイント

葉は互生で革質、光沢がある。まばらな鋸歯がある。

形態 常緑つる性木本

分布 本州（関東地方以西）・四国・九州・沖縄

名前の由来 樹皮から取った粘液を整髪に使ったことから美男葛。

葉 〈全体〉楕円形または卵形で長さ5～13 cm、幅2～6 cm。

〈付き方〉互生。

〈葉柄〉約1 cm。

〈基部〉広いくさび形～円形。

〈葉先〉やや尖る。

〈縁〉まばらな鋸歯。

備考

出典 4, ※